府中市平和都市宣言３０周年

府中市 かんきょう活動センターだより

第20号

平成28年度冬号

▲美しい果実のセンリョウ

センリョウ

【センリョウ科】

センリョウは、センリョウ科の常緑低木で、樹高が80ｃｍほどになり、地下茎から毎年新しい茎が出て株が広がる。関東南部から九州・沖縄までの比較的温暖な常緑樹林内に自生している。

花の少ない冬に美しい果実をつけるため、正月の縁起物として人気の高い植物です。

黄色の実をつけるキミノセンリョウもあります。

郷土の森博物館で野鳥の特別展とプラネタリウムで府中の夜空を観よう！

環境保全活動センター事業として、梅まつり開催期間中に、郷土の森博物館で、野鳥の特別展とプラネタリウムで府中の夜空とドラえもんを観よう。学芸員による説明もあります。

▽日時　平成29年2月26日(日)午前10時～正午

▽場所　郷土の森博物館内

▽費用　プラネタリウム料金（大人320円、中学生以下160円）（館内入園料別途必要、市民割引の為に、自身の証明となるもの持参）

▽主催　環境保全活動センター 電話335-4410

申込みなど、詳しくは2月1日号広報ふちゅうをご覧ください。

▲園内梅林風景

第46回府中市民桜まつり出展

4月8日(土)・9日(日)の両日に開催されます府中市民桜まつりに、今年も出展いたします。

府中市の桜の名所である、桜通りを開放し、市民が自然に親しみ、自然を愛し、だれもが楽しめる桜まつりです。昨年も出展し、多くのサポーターの皆様と環境保全活動センターのPRを行ないました。

出展ブースでは、葉っぱプリントや木の実細工を体験でき、自身で作成した作品は、お持ち帰りできます。多くの方のご来場をお待ちしております。

▲親子で楽しめる桜まつり

親子環境講座in多摩動物公園開催結果

東京ガス多摩支店・多摩動物公園主催及び多摩地区12自治体後援による「親子環境講座in多摩動物公園」が 11月13日（日）に多摩動物公園（日野市）にて開催されました。

本イベントは、自然環境と私達のくらしについて親子で学ぶと共に、地球環境全体に対する私たちの環境への取り組みを考えることを目的に開催されているものです。

今年で7回目となる今回は、家族65組218人を招待し、当日は冨田飼育展示課長の挨拶、伊藤東京ガス多摩支店長の挨拶の後、多摩支店からは「天然ガスって地球にやさしいの？」と題して、天然ガスと環境についてクイズを交えて紹介がありました。続いて、環境ジャーナリストの武田剛氏が「屋久島～奇跡の森を歩く～」と題して講演されました。武田氏は過去の南極観測隊に同行取材した経験やそこに生きる動物たちの様子や屋久島の神秘的な自然を通じて、人間と環境のかかわりについて、お話をされました。

▲親子で満員の会場

東芝ソリューショングループ環境フォーラム開催結果

東芝ソリューショングループ主催、府中市及び環境保全活動センター後援の「東芝ソリューショングループ環境フォーラム」が、東芝グループＣＳＲ（企業の社会的責任）月間行事として、12月8日（木）に府中グリーンプラザにて開催されました。今年で11回目となる本フォーラムは、350人が参加し、当日は俳優であり気象予報士である石原良純氏により『空を見よう～いま自分たちにできること～』と題して講演されました。石原氏は子どもの頃、自宅の近くの小高い丘の上に出る雲がなんとも不思議で、周りは晴れているのに何故雲が高いところにだけあるのだろうと、いつも思っていたとのことで、この「何故」が大切であり、その後の気象予報士への道にも大きく影響していると話されていました。このような小さな体験でも、信念を持って行動することの大切さについて考えさせられるものでした。

市民からのアンケートでは、「色々な空の見方をおしえていただいた」「普段、気にかけていた幾つかのことが繋がり、説得力のある話しを聞けてよかった」などの感想がありました。

府中かんきょう塾２０１６修了式

今年度は、27名の参加者のもとに、5月に第1回環境講座として開始した通年講座府中かんきょう塾は、12月で最終回を迎え、同時に修了式を行いました。これまでの講座では、都立狭山公園や市内の四谷下堰緑地と多摩川の自然観察会を行い、普段私たちが見落としている身近にある自然の大切さを感じ、講演では「日本の里山風景について」「大気環境問題とそれらの植物影響について」「再度、環境問題を考える」など、専門家から貴重な話をいただきました。

また、環境関連施設見学会では、最先端施設の東京スーパーエコタウン(大田区)を訪問し、産業廃棄物の高度なリサイクルを目標に、最先端の機械、システムを導入した企業を見た受講生からは、驚きの声が聞こえていました。

▼府中かんきょう塾2016プログラム（年７回）

5月14日　開講式　「日本の里山風景について」
6月11日　都立狭山公園の自然散策
7月　7日　東京スーパーエコタウン施設見学
9月17日　下堰緑地と多摩川散策
10月　8日　「大気環境問題とそれらの植物影響について」
11月12日　「府中の名木百選とブルーベリー史」
12月10日　「再度、環境問題を考える」
グループ活動成果発表、修了式

グループ活動発表では、「府中の名木百選その後について」「発酵食品について」「私の好きな歩道・緑道」の各テーマで、この間自主的に取り組んできたグループ活動の成果を発表しました。各班が詳細なところまで調べ、発表用資料も大変わかりやすく作成されていて、全員が努力していたことがうかがえた素晴らしいものでした。

今後の受講生の皆様のご活躍に期待いたします。

▲修了証を受取る受講生

通年講座府中かんきょう塾は、タイムリーなテーマを取上げた講座と、自然に親しむ野外活動や環境関連施設見学会を通して、環境問題について学びます。講座内容は難しいものではなく、専門知識がなくとも十分理解できるものです。

5月に開催予定の府中かんきょう塾2017に、皆さんのご参加をお待ちしています。

森キッズクラフトDAY in 浅間山開催結果

環境保全活動センター事業として11月3日(祝)西武・武蔵野パートナーズ共催のもと、都立浅間山公園で自然素材を使った簡単なクラフト教室を開催しました。

参加者は親子20組43人で、普段自宅では行なわない、親子で楽しめる自然素材を利用したクラフトを体験できました。

始めに、西武・武蔵野パートナーズの金本氏と浅間山自然保護会の山田会長の案内で、浅間山に入り、植物、昆虫等の自然について分かりやすい説明がありました。所々で、クラフトに使用するドングリや葉っぱを拾って、新設された南側の公園広場で、全員が楽しくクラフト教室を楽しみしました。

▲親子で楽しんだクラフト教室

市民農業大学・エコクッキング開催結果

環境保全活動センター事業として11月6日(日)にルミエール府中の2階料理講習室で、市民農業大学で収穫した野菜を使ったエコクッキングを開催しました。

参加者の方々は、お子さんを含め22人で、和気あいあいと楽しくクッキングができました。

献立は、黒米ごはん、具だくさんの牛乳みそ汁、春菊と厚揚げの白和え、カリカリベーコンサラダの新作4品で、家庭では味わえない一味違ったものでした。

この企画は、農業体験とエコクッキングの組合せで、自分で植え付け、そして収穫した材料を使って調理を行うということで、参加者の皆さんは、とても感動していました。

▲おいしく頂きました

田んぼの学校実施結果

■田んぼの学校収穫祭・修了式

(NPO法人府中かんきょう市民の会　寄稿)

11月6日(日)中央文化センターで「田んぼの学校」収穫祭・修了式を行いました。

参加者は生徒38人と保護者47人、スタッフ、市長など全部で129人でした。

収穫祭は収穫したお米をおにぎりにして食べるもので、朝から生徒も保護者と一緒に、おにぎりを握ったり、豚汁をみんなで作りました。作ったものは、昼ごはんでいただき、今年も完食でした。

今年は、お盆後の台風襲来などで天候不順でしたが、防鳥ネットの整備や、草取りの回数を増やしたこともあってか、ヒエやクログワイなどの雑草が少なく、全体の収量は110kgと、面積あたりでも東京都の平均に近い水準になりました。

修了式は、出席した生徒全員に修了証を手渡すセレモニーがメインで、クイズや感想文の発表などで盛り上がりました。

▲修了証を授与される子ども達

登録団体事業予定

■西府崖線野鳥観察会の開催

(NPO法人府中かんきょう市民の会　寄稿)

今回で3回目の開催です。西府崖線にはカモ類を始め、シジュウカラ、ハクセキレイ、ジョウビタキなどたくさんの野鳥が飛来します。一緒に観察しませんか。皆様の参加をお待ちしております。双眼鏡などをお持ちの方はご持参ください。

▽日時　平成29年2月4日(土)　9:30～11:30
雨天時は5日(日)に延期

▽集合場所　JR南武線西府駅南ハケ下「あずまや」

▽主催　NPO法人府中かんきょう市民の会

▽申込み　当日直接「あずまや」へ集合

▽問合せ　田中香代子　電話366-0966

▲府中用水のカルガモ

エコプロ2016出展

12月8日(木)から10日(土)に東京ビッグサイトで開催された、日本最大級の環境展示会であるエコプロ2016に、府中市も参加しているオール東京62市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」が出展しました。

会場内では、様々な企業や官公庁、教育機関が出展しており、環境に対する取組や、最先端の技術を見ることができました。

府中市からは「二千年の眠りから覚めた大賀蓮」「府中からエコカー発進！エコ発信！！」についてのパネル展示や説明を行い、府中市の環境施策をＰＲしました。

12月8日(木)に行なわれた会場内のワークショップでは、浅間山自然保護会の皆さんが木の実細工の実演を行い、来場した多くの子どもたちは、ヤジロベエやドングリの置物を作り、互いに見せ合いながら、珍しいと喜ばれ、大変賑わいました。

▲ワークショップの様子

▲府中市のブースの様子

中学生の職場体験記録

10月3日から7日までの5日間、中学生の職場体験がありました。今年も第一中学校から二人の生徒さんが来られました。駅前周辺の清掃から始まり、ホタルの会の手伝い、市民花壇巡回、会報誌原稿の確認作業等の仕事を手伝っていただきました。

初めての経験だったと思いますが、汚れる作業も気にもせず、手際よく処理している姿は、大変気持ちの良いものでした。これから先、どのような仕事をするのかは徐々に見えてくると思いますが、二人の進む道を決めるお手伝いが少しでもできれば、嬉しいと感じました。

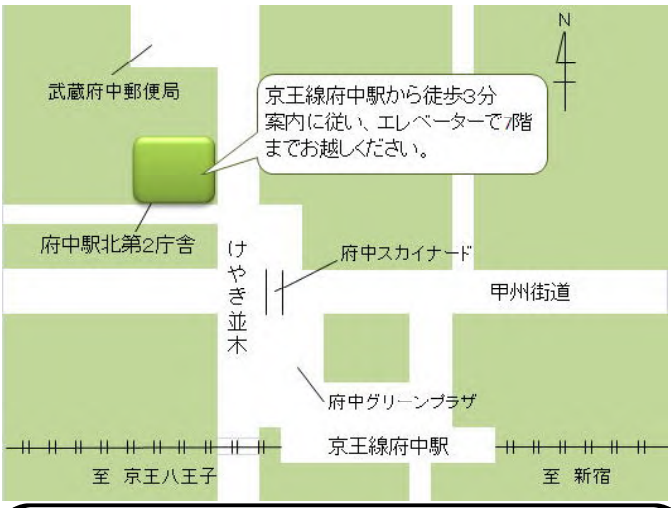
▲カワニナの水槽掃除

▲ホタルの水路掃除

府中市環境保全活動センター

環境保全活動センターは、環境保全活動機会の提供及び環境問題に関する相談等を通じて、市民、事業者及び学校等が行う環境保全活動への取組みを支援しています。

■所在地　〒183-0056
府中市寿町１丁目５番地
府中駅北第２庁舎７階
■電話番号　０４２－３３５－４４１０
■利用時間　午前９時から午後５時
■休業日　土曜日、日曜日及び祝日、年末年始
（１２月２９日から１月３日）
ホームページ　http://fuchu-kankyo.com
メールアドレス　mail@fuchu-kankyo.com



編集後記

昨年、多摩川“水”大学講座で環境をテーマに水を学ぶことができました。私たちの体の50～75%が水であることを考えると、水は最も身近な物質の一つと言えます。

この身近な水は不思議で不可解な性質を持っており、その性質が地球上の生命を支えています。水の沸点は100℃ですが、大部分のウイルスや細菌は80℃で死滅することを考えると、100℃であることは、我々人類にとってとても大きな恵みではないでしょうか。何故水の沸点が100℃になるのか、仮説は唱えられていますが、いまだに実証されておりません。水は4℃で最も比重が大きくなり、氷になると比重が下がり水に浮きます。この水の性質があったればこそ、水中生物（生命体）は長い地球の歴史を生き続けることが出来たと専門家は言います。

（編集委員　Ｍ・Ｓ）

発　行　日　平成２９年１月２７日（金）
編集・発行　府中市環境保全活動センター
広報活動部会
次回発行予定　平成２９年４月